

**平成 29 年度対ボツワナ草の根文化無償資金協力
「ボツワナ空手協会空手道場拡張計画」引渡式の実施**

在ボツワナ日本大使館
令和 6 年 4 月 25 日

4 月 24 日、平成 29 年度対ボツワナ草の根文化無償資金協力「ボツワナ空手協会空手道場拡張計画」の引渡式が、大森撰生駐ボツワナ日本国大使、ラカレ青少年・ジェンダー・スポーツ・文化大臣、ボツワナ国家スポーツ委員会代表、被供与団体のバクワディ・ボツワナ空手協会代表、来賓その他関係者の出席の下、ハボローネ市のナショナル・スタジアムに隣接する空手道場にて行われました。

本計画は、ボツワナにおける急激な空手競技人口の増加により、より広い練習及び試合会場の確保に対応するため、平成 20 年度対ボツワナ草の根文化無償資金協力「ボツワナ空手協会空手道場建設計画」にて建設された空手道場の拡張事業として実施されました。空手の練習及び試合を行うための稽古場、練習及び試合に必要な機材等を保管するための倉庫、トイレ付き男女更衣室の建設を支援するもので、空手協会の拠点となる練習・試合環境の改善を通じ、スポーツによる青少年育成及び当地のスポーツ文化の発展に寄与することを目的としています。

引渡式において、大森大使は、ボツワナ空手協会がこれまれ以上に空手道場を活用し、拡張された空手道場が青少年育成に大きな役割を果たすことを期待する旨述べました。また、この道場がナショナルチームなどのトレーニングや全国大会に利用され、当地のスポーツ振興に重要な役割を果たす旨述べました。大森大使、ラカレ大臣による道場のオープニング宣言とテープカットの後、子どもたち 5 名による空手の型（1 人で行う個人型と 3 名で行う団体型）が披露され、真剣な眼差しで実演する姿に、式典参加者一同、心を動かされました。



ラカレ大臣、大森大使によるテープカット



子どもたちによる空手の型の披露